

Main table containing race results, horse names, jockeys, and statistics for various races. Includes columns for race numbers, horse names, jockeys, and performance metrics.

東京 12 発走 15:40

手廻り 乗成績 賞金 総賞金

距離別勝利 三つ上 二つ上 一つ上

芝2400

推定タイム 馬場状態

重賞成績

コース別勝利回数

重賞成績

確定後情報 シムカミル

オネスト

ヴェルトライゼン

トラストケンシン

池江寿師

今回は期待している

確実に脚を使える

高橋文師

評価

本紙の見解

G1戴冠へDベルーガ

2006年のウィジャボードを最後に、外国馬は馬券圏内には入っておらず、今年も日本馬が中心となる見立。3歳ダノンベルーガに期待した。天皇賞・秋では勝ち馬には伸び負けの形だったが、直線内から脚を使った内容は悪くなかったし、ダービーと比べても落ち着いて競馬に臨んでいた点にも好感が持てた。シャフリヤールが強敵。(郡)

WIN56 東京 馬単 14⇒15 14⇒6 14⇒3 14⇒6 14⇒2 14⇒5 14⇒13

3連複 14 235 2613 235 2613 235 2613 (30点)

5 グランドグロリー

○ビエトリニ師集力が増してきて、毛ツヤもいい。昨年よりいい状態だと思ふ。枠順については、中団につけることができそうなので、いいレースになるでしょう。

6 ヴェアラズール

○渡辺師前走は本当にいい末脚を見せてくれたね。短期放牧を挟んだが、最終追い切り時の動きも良かったし、順調に調整できた。体質が強化され、充実している。今の勢いなら来しみて、評価は今年3月から芝を走すべし。1位。重賞初挑戦の前走も豪快な大外一気。要注意。

7 テュネス

○シールゲン師もともとい馬だが、どんどん成長してさらに地力強化。ディンドリムの時は疲れていたが、この馬はまた今季3歳で、とてもフレッシュ。非常にスタミナがあり、近2走も悪い馬場で圧勝。できれば柔らかい馬場で走りたい。逃げているのは他が行けなかっただけで、このあたりはいい。

8 デアリングダクト

○間隔を詰めることで、前走より一段上の状態。辻野師極端な内外ではない枠で良かった。この中間は輪郭がはっきりとしてシャープ。前走より一段上の状態。

9 ユニコーンライオン

○安藤師前回は好枠から先手を取って、隊列もあっさりとした。決まったが、東京の二四なら一角まで距離があるから、この枠順でも問題ない。ある程度つかれていての方が飽きもこないから、リズム良く運べれば、評価は前走で復活。21年宝塚記念の着の実績馬。ノーマークで後続が離れると怖い。

3連複 61415 31415 21415 51415 3614 2614 5614 3314 314 214 514 3614 2614 5614 3314

過去の実績 15 2 8 5 7 コース適性 15 14 8 18 10 最近の成績 7 2 14 5 6 攻め馬状態 6 18 15 14 3

12 シヤドウディーヴァ

○斎藤誠師治療の効果で脚元の不安がなくなり、しっかり調整できた。どんな競馬もできるし、乗り方は鞍上に任せる。時計のかかる良馬場が理想だね。今年も勢い下がり。一変？

13 テーオーロイヤル

○横井助手秋2戦は噛み合っていないが、原因はあるから、前走は57.5キロを背負っていたたぶんブレーキをかける場面。そこからもう一度踏むのは大変だから、もう一度経験にはなっただと思うし、中2週でも緩め調整できているよ。展開ひとつでやれるはず。

14 ダノンベルーガ

○堀師このレースを使った後の反動で、大きなダメージを受けて今後の健全な成長を阻害しないように、体調面を慎重に見極めてうえで出走を決めた。状態は天皇賞の時と変わらないうし、操作性が高いので距離に関しても、まったく心配していない。

15 シヤフリヤール

○藤原英師前走は展開もあって勝負力を生かすことができて結果が伴わなかったが、悲観してはいない。昨年よりも心技体で上向しているし、ここは得意の舞台だからね。目一杯の走りを求めている。

16 リッジマン

○千葉幸師長期休養後の転入だったが、2回使ったあたりでいい状態がガラッと変わった。条件だが、今、持てる力を出し切ってくれればと思う。

17 ユーバリーベン

○手塚師のんびり屋の脚質で自分から勝ちにいけるのは難しけれども、向きの難しさが少し改善されたので、初めてのG1でも楽しみを持って臨みたい。

18 ボッケリーニ

○池江寿師前走は流れが遅すぎて上がり勝負に。この馬には向かない展開になったが、それで崩れずに走ってくれたから、口向きの難しさが少し改善されたので、初めてのG1でも楽しみを持って臨みたい。

《PATをご利用の方へ》 発売締切時間帯は入金が集まるため入金完了に時間がかかります。入金指しは時間に余裕をもってお早めにお願ひいたします。 JRA 日本中央競馬会

19 ユニコーンライオン

○安藤師前回は好枠から先手を取って、隊列もあっさりとした。決まったが、東京の二四なら一角まで距離があるから、この枠順でも問題ない。ある程度つかれていての方が飽きもこないから、リズム良く運べれば、評価は前走で復活。21年宝塚記念の着の実績馬。ノーマークで後続が離れると怖い。

20 シヤドウディーヴァ

○斎藤誠師治療の効果で脚元の不安がなくなり、しっかり調整できた。どんな競馬もできるし、乗り方は鞍上に任せる。時計のかかる良馬場が理想だね。今年も勢い下がり。一変？

21 テーオーロイヤル

○横井助手秋2戦は噛み合っていないが、原因はあるから、前走は57.5キロを背負っていたたぶんブレーキをかける場面。そこからもう一度踏むのは大変だから、もう一度経験にはなっただと思うし、中2週でも緩め調整できているよ。展開ひとつでやれるはず。

22 ダノンベルーガ

○堀師このレースを使った後の反動で、大きなダメージを受けて今後の健全な成長を阻害しないように、体調面を慎重に見極めてうえで出走を決めた。状態は天皇賞の時と変わらないうし、操作性が高いので距離に関しても、まったく心配していない。

23 シヤフリヤール

○藤原英師前走は展開もあって勝負力を生かすことができて結果が伴わなかったが、悲観してはいない。昨年よりも心技体で上向しているし、ここは得意の舞台だからね。目一杯の走りを求めている。

24 リッジマン

○千葉幸師長期休養後の転入だったが、2回使ったあたりでいい状態がガラッと変わった。条件だが、今、持てる力を出し切ってくれればと思う。

25 ユーバリーベン

○手塚師のんびり屋の脚質で自分から勝ちにいけるのは難しけれども、向きの難しさが少し改善されたので、初めてのG1でも楽しみを持って臨みたい。

メインレース展望

黒津 紳一 中西 徹

天皇賞秋を「1分57秒台」+「上がり32秒台」で走れば負けていても一流認定。調べた限りではウオッカ・フィエロルマンと今年3着馬の4頭だけ。ダノンベルーガは一流。

ハイペースで展開が向いたとはいえず、先着2頭と伸びが互角。厳し流れに賞のダノンベルーガ。天皇賞と夏越しして心身ともに成長見せる今なら距離は十分克服可能とみた。

東京 12R 躍動感あって鋭い伸び脚 充実一途

12R 1000 800 600 200 脚いろ

《Club JRA-Netのご案内》

「Club JRA-Net」は、電話・インターネット投票会員であれば、どなたでも登録いただける会員専用Webサービスです。ご登録いただくだけで、「過去60日分の投票内容」「各種キャンペーンへのエントリー」「メルマガ登録」等をご覧ご利用いただけます。詳細は、JRA ホームページをご確認ください。



